

平成22年度 普通会計

# 立川市の財務書類(4表)を作成しました

総務省方式改訂モデル

図財政課・内線2676  
くわしくは、市ホームページをご覧ください

市は、新地方公会計制度に基づき、平成22年度普通会計決算の財務書類4表(貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書)を作成しました。これまでの1年間の現金収支(歳入歳出決算書)に加え、新地方公会計制度では、資産や負債などの、発生主義に基づくストック情報やコスト情報、1年間の資金収支の状況などを明らかにし、市の財政状況をより分かりやすくしました。平成22年度決算では、普通会計と特別会計、一部事務組合、土地開発公社、地域文化財団など市の財政に影響のある関連団体等を国の基準により連結した、「連結財務書類」も作成しました。

用語解説

**発生主義と現金主義**  
「現金主義」が現金の収入・支出により資産やコストを認識する考え方に対して、「発生主義」は、現金の動きだけでは把握できない、将来の負担すべき負債や現在市が持っている資産など、行政資産を統合的に管理するために導入された考え方です。  
車の購入を例にすると、現金主義では現金を支出した年度に会計の処理をしますが、発生主義では、使用期間(耐用年数)にかかる減価償却費として複数年にわたり会計の処理をすることになります。また、車を廃棄するときは、現金主義では現金の動きがない場合は会計の処理を行うことはありませんが、発生主義は、車という資産の減少として会計の処理

をします。発生主義の会計処理では、現金の動きを伴わない場合でも資産の増減について会計の処理を行うこととなります。  
**新地方公会計制度と総務省方式改訂モデル**  
国では、平成18年度から新地方公会計制度に基づく貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書の4つからなる財務書類の整備を地方公共団体に推進しています。このうち立川市では、地方公共団体が作成している資料(決算統計データ)を利用する「総務省方式改訂モデル」に基づき財務書類を作成し、段階的に固定資産台帳を整備していくこととしています。「総務省方式改訂モデル」は、多摩地域の多くの市が採用しています。

## 表1 貸借対照表(バランスシート)

平成23年3月末時点での市の所有する資産などのストック情報

左側には、平成23年3月末に市が行政サービスを提供するために保有している土地や建物、車などの固定資産をはじめ現金、基金などの流動資産を表し、右側の負債などは固定資産や流動資産をどのように取得したのか、その財源を表しています。

平成22年度の資産の総額は3,108億2,576万円です。負債の合計は474億1,598万円、資産と負債の差額となる純資産は2,634億978万円となります。

(平成23年3月31日現在)

借 方		貸 方	
<b>資産の部</b> これまでに蓄積した資産		<b>負債の部</b> 将来の世代の負担	
公共資産	2,937億7,107万円	固定負債	414億9,453万円
●うち有形固定資産	2,931億1,021万円	市の借金となる地方債や、将来支払うべき職員の予想される退職手当の引当金など	
●学校・体育館・図書館を含む教育、道路・公園・住宅を含む生活インフラ・国土保全などの目的別の立川市の行政サービスに使われる建物、土地、重要な備品などの資産		流動負債	59億2,145万円
		1年以内に支払う予定のある地方債の償還や職員の退職金など	
投資等	86億6,172万円	負債合計	474億1,598万円
公益財団法人への出資金や、貸付金など			
流動資産	83億9,297万円	<b>純資産の部</b> 資産と負債の差額で今までの世代の負担	
●現金預金	77億9,257万円	純資産	2,634億 978万円
(うち歳計現金)	(27億2,673万円)		
●未収金	6億 40万円	純資産合計	2,634億 978万円
資産合計	3,108億2,576万円	負債・純資産合計	3,108億2,576万円

## 表2 行政コスト計算書

1年間(平成22年度)の行政サービス等の費用

市が行う行政サービスにかかる費用について、目的別・性質別に表しています。また、行政サービスなどを提供することにより市民の皆さんから受ける使用料や手数料などの収入も表しています。平成22年度の行政サービスにかかるコストの主なものとしては職員の給与などの「人にかかるコスト」が120億1,193万円です。全体の19.2%、物品の購入や郵便料などの「物にかかるコスト」は155億3,736万円です。全体の24.9%、また、最も多いのは生活保護や、各団体への補助金など、市では直接消費せず個人や団体へ支出する「移転支的コスト」で343億1,503万円です。全体の55.0%の割合を占めています。目的別にみると福祉が322億595万円と最も多く全体の51.6%となっています。

性質別

経常行政コスト	構成比率	総 額
人にかかるコスト(職員の給与など)	19.2%	120億1,193万円
物にかかるコスト(物品の購入や郵便料、建物の管理委託など)	24.9%	155億3,736万円
移転支的コスト(生活保護費などの扶助費や、団体への補助金など)	55.0%	343億1,503万円
その他のコスト(地方債の利息など)	0.9%	5億3,658万円

a 経常行政コスト	624億 90万円
経常収益	
b 使用料・手数料	13億9,328万円
c 分担金・負担金・寄附金	4億5,499万円
d 経常収益合計(b+c)	18億4,827万円
d/a	3.0%
(差引)純経常行政コスト a-d	605億5,263万円

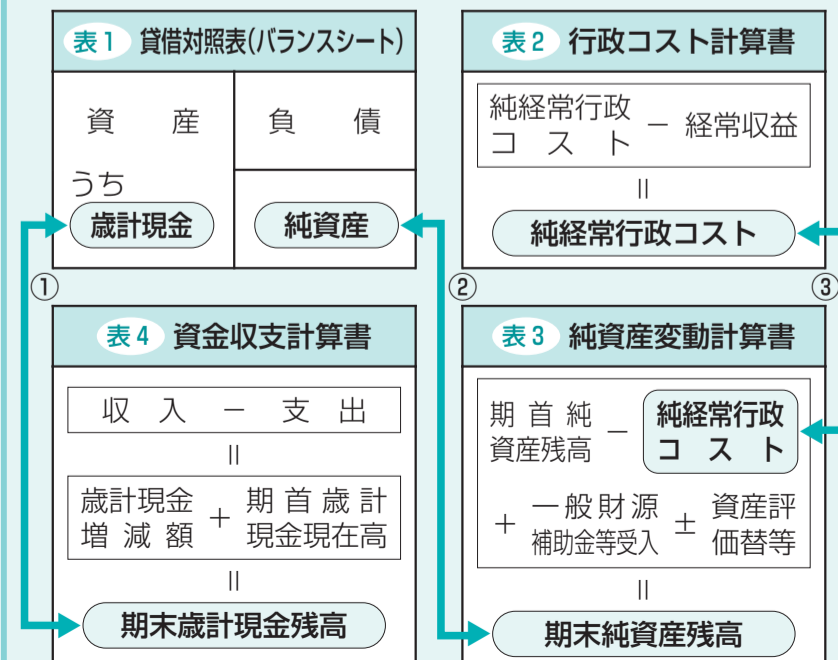
目的別

経常行政コスト	構成比率	総 額
生活インフラ・国土保全(道路や公園などの維持管理など)	11.0%	68億3,951万円
教育(学校の教育や図書館の運営など)	12.0%	74億6,127万円
福祉(生活保護や保育園の運営など)	51.6%	322億 595万円
環境・衛生(ごみの処理や予防接種など)	7.6%	47億3,032万円
産業振興(市内の商業・農業・工業の振興など)	1.7%	10億6,788万円
消防(市の消防団や災害時の備蓄品の管理など)	3.4%	20億9,162万円
総務(市の庁舎や、その他の市民サービスなど)	11.3%	70億5,938万円
議会(市議会の経費など)	0.6%	4億 825万円
その他	0.8%	5億3,672万円

a 経常行政コスト	624億 90万円
-----------	-----------

## 財務書類4表の相互関係

- 「貸借対照表」の資産の内訳として歳計現金(歳入、歳出に属する現金)は、「資金収支計算書」の期末歳計現金残高と一致します(表1と表4の関係)。資金収支計算書は1年間の歳計現金の流れ(増減)を表しています。
- 「貸借対照表」の純資産は、これまでの世代が負担し支払済みの資産で、「純資産変動計算書」の期末純資産残高と一致します(表1と表3の関係)。純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産にかかる1年間の資産の流れ(増減)を表しています。
- 「行政コスト計算書」の純経常行政コストは、経常行政コストと経常収益の差ですが、「純資産変動計算書」の純経常行政コストと一致します(表2と表3の関係)。



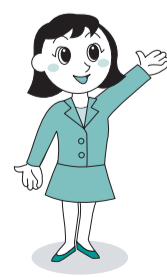
## 表4 資金収支計算書

1年間(平成22年度)の資金の流れ

資金収支計算書は、市の資金の流れを、「経常的」、「資産整備」、「投資・財務的」収支の部に分けて表しており、どのような部門に資金が流れているかが分かります。

平成22年度は経常的収支の部では80億3,389万円で収入が多くなっていますが、公共資産整備収支の部では△21億8,842万円、投資・財務的収支の部では△59億8,062万円となり、いずれも収入より支出が多くなっています。1年間の収支では、年度のはじめと比べて資金の残高が1億3,515万円の減額となっています。

当初の資金の残高(期首歳計現金残高)	28億6,188万円
<b>1 経常的収支の部</b>	
市税の収入や、人にかかる費用、物品の購入など、経常的収支	
●経常的収支額	80億3,389万円
<b>2 公共資産整備収支の部</b>	
公共資産の整備にかかる資金や、国・都の補助金などの収支	
●公共資産整備収支額	△21億8,842万円
<b>3 投資・財務的収支の部</b>	
地方債の償還や公共資産の売却による収入などの収支	
●投資・財務的収支額	△59億8,062万円
1年間の資金の増減高(当年度歳計現金増減額)	△1億3,515万円
期末の資金の残高(期末歳計現金残高)	27億2,673万円



## 表3 純資産変動計算書

1年間(平成22年度)の純資産の動き

純資産変動計算書は、貸借対照表の純資産の部が、1年間にどのように変動したのかを表しています。貸借対照表の純資産の部が減少し、負債の部が増えるのは、市の資産を形成するために将来の世代の負担の割合が増えたことを表しています。純資産の部が増加することは、現代の負担で資産を形成できたことを表しています。平成22年度のはじめ(期首)の純資産残高は2,635億1,699万円ですが、期末には2,634億978万円と減少しています。

期首純資産残高	2,635億1,699万円
純経常行政コスト	△605億5,263万円
市税などの一般財源・資産評価替等	604億4,542万円
期末純資産残高	2,634億 978万円